

ちくさえとこ通信

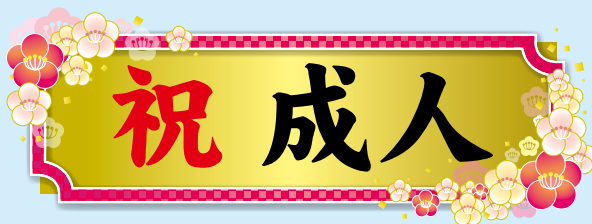
2018.1.15 発行

No.9

平成30年 祝 ちくさ 成人を祝う会



▲千種南小学校



1月2日にセンターちくさで
「成人を祝う会」が開催されました。
ご成人おめでとうございます。



▲千種東小学校



▲千種北小学校

～ガンバってます 千種高校生～

千種高校街の駅「ええとこカフェ」の取組



千種高校2年生は、千種町内の事業所で就業体験をさせていただいており、そのうち、私たち女子3名が千種まちづくり推進委員会（ええとこセンター）でお世話になっています。

私たちは、その取組の中で、千種の街の活性化をテーマに、今年度、ええとこセンターで千種高校街の駅「ええとこカフェ」を開催しています。

ええとこセンターの方々にアドバイスをいただきながら、メニューの検討、準備から接客まで自分たちで行い、開催したカフェは地域の方々にも好評でした。



これまで、様々な行事で私たちは参加する側でしたが、今回は運営する側となって、「お客さまに喜んでもらうにはどうすればよいか」ということを考えることができたと思います。

また、地域の方々に「今度いつするん?」、「若い子と話せて良かった!」などのお声もいただきました。そして、私たち高校生が何かをするとき、地域の方々はすぐに手伝ってくださったり、アドバイスをくださったりと、千種の方々の素晴らしさを感じました。

地域の方々と交流することによって、他の学校では学ぶことのできない生活の知恵も学ぶことができ、本当に意味のある時間になりました。

私たちは、この経験を大切にして、これからの学校生活や社会生活に活かしていきたいと思います。

(千種高校2年生女子)





「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」

千種高校では、4年ほど前から情報モラル向上のための様々な取組を行ってきました。

たとえば、園小中高合同ふれあい文化祭で、園児～高校生向けの情報モラル啓発劇を上演したり、地域の方々向けにスマホ教室を開催したりしてきました。

また、私たちは、昨年度、「インターネットサミット in Chikusa 2016」を開催し、千種町内の小・中学生とともに「千種町インターネット宣言 2016」を策定しました。今年度のインターネットサミットでは、保護者代表のみなさんにも参加していただき、「宣言 2016」の実施状況を検証するとともに、スマホに依存してしまうこと、SNS上での交流に関する問題点や改善方法について話し合いました。新たな発見も多く、とても有意義なサミットになりました。

ところで、ネット上のトラブルは、海外でも問題になっています。私たちは、昨年の秋以降、アメリカ・アリゾナ州の高校生とテレビ会議を通して、それぞれの文化やネット上のいじめについて意見交換をしています。アメリカの高校生のネット事情や考え方、感じ方は興味深く、驚くこともあります。これからは、海外との交流も深めながら、情報モラル向上のために、一層充実した活動を行いたいと思っています。

このような地道な取組については、いろいろな場面で発表させていただいており、このたび、(独)情報処理推進機構(IIPA)主催の「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」で文部科学大臣賞を受賞しました。

(千種高校生徒会執行部)



第10回句碑の小径俳句大会

平成29年11月3日 於ちくさ高原



福元市長さんも挨拶に駆けつけて下さいました

皆さまご存じの方も多いと思いますが、今回は、ちくさ高原クリンソウ群生地そばに建てられている句碑と、そのもとになっている俳句大会について取材させていただきました。

句碑は、千草在住の徳田紫紋先生が主宰されている「白萩句会」によって開催されている「句碑の小径俳句大会」優秀者の句を刻んだものです。

(複数回の優秀者賞を取られた場合、次点の人にその権利が譲られます)

「句碑の小径俳句大会」は、平成13年宍粟郡千種町の時代に始まりました。始めは白萩句会だけで開催していたのですが、6年後の平成19年から、他地域の句の愛好家も参加できるようになり、現在は、白萩句会が主催、宍粟市が後援となって毎年開催されています。

近年は、宍粟市のみならず、神戸、姫路、高砂、加古川、芦屋、明石、相生、岡山から俳句の愛好家が60～70人程度集います。前半は熱心に句を詠みます。後半は皆で優秀句を選句します。その間、殆ど私語はありません。凛とした、それでいて俳句に対する熱い情熱的な空気が会場に漂います。

10回目の節目の昨年は、310句の投句(参加句)がありました。

その310句を白萩句会の仲間二人で一氣に20枚くらいに清書し、集まった70人に回して、一人ひとりが句を選んでいきます。この「選句」というのは、句を詠むのとは、また一味違った面白さがあります。短歌にはない楽しみですね。

誰かに選んでもらうのではなく、自分たちでこれはという句を選び、それで高得点に入った人から、賞に入賞していきます。自分の句が選ばれているのか、何点くらい入っているだろう、というスリルも味わえます。

俳句は、難しいものではなく、楽しいものです。選句に参加してみて、面白さにはまったという人も結構おられます。

そして、自然や人の心を題材としているので、自然や心を細かく感じ取る心がおのずと養われてきます。鉛筆と紙さえあれば始められます。「仲間の句に感動したり句について語り合ったり、本当に生涯楽しめる楽しいものです」とは、徳田会長談です。皆さんも一度参加してみませんか。



第一席 市長賞

行者径九月晦日の葉擦れ音

徳田紫紋

第二席 市議会議長賞

稜線を崩すしぐれや鉄の里

廣石義子

第三席 教育長賞

瀬に落ちて団栗の旅始まれり

笹尾玲子

笹尾玲子(芦屋市)さんの句が平成29年の句碑建立の句となります

ちくさもみび祭り

平成 29 年 11 月 3 日(祝)

千種まちづくり推進委員会では、
地鶏つみれ汁を振る舞いました。



木々の紅葉が美しいちくさ高原で開催された『ちくさもみび祭り』。たたら製鉄体験やちくさ俳句コンテスト、そして美しい風景を写す写真撮影会など盛り沢山な内容でお客様をおもてなしました。



たたら製鉄実演中



写真撮影会



「千種に引越して来てよかった～」

とってもうれしい子育て支援センター



エーガイヤにて子育て支援員さんを中心に、とっても素晴らしい子育て広場をつくっていただいています。おもにこども園に行く前の子どもさんや保護者の皆さんの交流の場として、また、子育てや暮らしの相談の場として、若いお母さん方にとってはとっても大事な、なくてはならない場となっています。

今、登録されているのは約20組の親子さん。毎週水曜日はオープンデー(9時～4時)。あと、月1～2回の全体活動やそれ以外にグループ活動などいろんな活動をされています。

去年は、アユのつかみ取り、七夕会、親子スイミング、ピクニック、ヨガ教室、クリンソウ見学、餅つき、たこ揚げ、節分、ひな祭り、紙すき、田んぼ遊び、紙粘土、クッキング…。託児ボランティアの方々やいろんな地域の方々のご協力もあり、とても温かい場所が広がっています。すすくと笑顔で元気な子育てができるといいですね～。



—— お母さんたちの声 ——

●子どもを連れてゆっくり遊んだり行事に参加したり、家だけではできない経験をたくさんさせてもらっています。また、小さいうちから子どももお友達ができ、親子共々いつも楽しくさせてもらっています。

●親にとっても子にとっても、とても大切な場所です。他のお母さん達と楽しくおしゃべりしたり、時には互いの悩み相談をしたり、子どもはお友達や支

援員の方と遊び走り回りストレス発散でき、千種での育児にとってはなくてはならない存在です。季節ごとの行事やグループ活動等も豊富で本当に満たされています。田舎で子どもが少ないからこそその行き届いた子育て支援だと日々感じています。子育て支援センターがあり、支援員の方やスタッフの方々皆さんがいつも温かく居てくれることも、千種へ引越して来てよかったと思える一つの理由です。

●いつも楽しく利用させてもらっています。ママさんとの交流もできていいと思います。

●毎月様々なイベントや季節行事があり、経験しにくい色々なことを学べて充実していました。なので、いつも翌月のイベントが楽しみでした。

●いつも支援員さんに手紙やLINE で気にかけて頂きうれしかったです。親子共々楽しく参加できました。

●この一年、私も子どももエーガイヤに行くことが

日々の楽しみでした!! 友達やスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

●元気いっぱい＆イヤイヤ期で大変な面もありましたが、皆さん温かく見守ってくださるおかげで少しずつ成長できています。私自身もエーガイヤに来ると心が軽くなって助かっています。これからも親子で一緒にいろんな経験をしていくのが楽しみです。



—— 支援員さんから ——

たくさんの方々の温かいご協力をいただき、活動ができていますこと大変嬉しく思います。本当にありがとうございます。お母さんは毎日大変だと思いますが、長い人生のうち、子どもの成長はあっという間です。今しか見れない・今しかできないこともたくさんあると思います。そんな子どもたちの貴重

な時期をそばで見せていただき、私たちも驚きや感動をたくさんもらいます。お母さん達に教えられることもたくさんありました。改めて感謝いたします。

子育て支援センターは、皆さんの子育てをずっと応援しています。良い知らせはもちろん、しんどい時つらい時、どんな時でも寄って来てくださいね。いつでも待っています。

ふるさと鷹巣に帰って
活躍中!!



金 本 進 (かなもと すすむ)

エアークラシなどたくさんの道具を使って描かれた作品は、まるで写真のような仕上がりで、目を疑うほどリアルで優しい光を放ち、観る者の心をほぐし癒してくれます。他にも広告ポスターや企業商品のパッケージなど様々なジャンルの作品を手がけておられます。昨年11月の千種町文化展でも展示し、大勢の方にご覧いただきました。

【略 歴】

- 1962 千種町鷹巣生まれ
- 1982 神戸デザイナー学院卒業
佐藤 貞夫 イラストレーション事務所入社
のちフリー
- 1996 第43回日本雑誌広告賞
通商産業大臣賞 松下電器産業株式会社イラスト作成



『使用されている道具類』



『千種町文化展の様子』



こんにちは赤ちゃん

赤ちゃん写真大募集！
新しい可愛い家族を紹介してください。



河呂 ゆずは
春名 柚葉ちゃん

父 研
母 真弓

【メッセージ】海斗お兄ちゃんが大好きな柚葉ちゃん！
これからも2人仲良く大きくなってね♪



室 はる
田口 晴ちゃん

父 隆博
母 奈緒子

【メッセージ】生まれて来てくれてありがとう♪
お兄ちゃんと仲良く遊んでね☆